

⑨人材育成 研修内容の見直し（第1期）説明資料

(1)コース構成表(研修内容整理表 第4階層、第5階層)(⑨人材育成)

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)	単元 (第4階層)	手法	単元の概要	講師名	学習目標 (第5階層)
1	人材育成総論	維持	人材育成総論	座	人材育成の必要性や戦略、規定事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の必要性を説明できる。 人材育成の規定事項について説明できる。 人材育成の手法の概要について説明できる。 人材育成の対象とポイントを説明できる。 人材育成のプログラム化を説明できる。
2	訓練・研修企画手法	維持	訓練・研修の実際	座	国や地方自治体等が実際に実施している訓練の事例を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 国が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 地方公共団体が実際に実施している訓練の事例を説明できる。 各種研修機関が実施している研修の事例を説明できる。
3	訓練・研修の実際	維持	訓練・研修企画手法	座	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練・研修の体系を説明できる。 各種防災訓練・研修の特徴を説明できる。 防災訓練・研修の企画と留意点を説明できる。
4	訓練企画運営実践 I 討議型図上演習 (エスノグラフィー演習)	維持	訓練企画運営実践 I 状況付与型図上演習	演	訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである災害対策本部運営訓練を経験すると共に、様々なシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 状況付与型図上演習の内容を説明できる。 状況付与型図上演習の企画の考え方を説明できる。 状況付与型図上演習の評価の考え方を説明できる。
5						
6	訓練企画運営実践 III 状況付与型図上演習	維持	訓練企画運営実践 II 討議型図上演習	演	訓練手法のうち討議型図上演習の一つであるエスノグラフィー演習を経験すると共に、様々な素材を用いたケースメソッドの考え方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 討議型図上演習の内容を説明できる。 様々な素材を用いた討議型図上演習の内容や考え方を説明できる。 討議型図上演習を実施する上での留意点を説明できる。
7						
8	訓練の運営、 評価・改善手法	統合	人材育成プログラム 作成演習	演	人材育成プログラムの作成手法や留意点について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成プログラムの作成方法や留意点を説明できる。 様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムを作成できる。
9						
10	全体討論・閉講	統合				

(2) 研修内容整理表(第4階層～第6階層)(⑨人材育成)

No	第4階層(単元)	No	第5階層(単元の「章」のまとめ)	第6階層(学習内容)
1	人材育成総論	1	人材育成の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災における人材育成とは何か ・人材育成に関する取組の経緯
		2	人材育成の規定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策基本法における規定 ・防災基本計画における規定 ・地域防災計画における規定例
		3	人材育成の手法の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成手法の全体像 ・訓練・研修を通じた防災に関する人材育成とその手法 ・e-ラーニングの取組 ・被災地派遣(OJT)による人材育成
		4	人材育成の対象とポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の対象者の考え方 ・対象者の役割に応じた育成上の留意点 ・対象者のキャリアに応じた育成上の留意点
		5	人材育成のプログラム化	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムの必要性 ・人材育成プログラムのイメージ
2	訓練・研修の実際	1	国が実際に実施している訓練の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練大綱の概要 ・国が実施している訓練・研修の概要 ・総合防災訓練の概要 ・津波防災訓練の概要 ・図上訓練の事例
		2	地方公共団体が実際に実施している訓練の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の傾向 ・実動訓練の事例 ・図上訓練の事例
		3	各種研修機関が実施している研修の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修機関における防災研修の種類、事例(人と防災未来センター、消防防災科学センター、市町村アカデミー、静岡県、広島県など)
3	訓練・研修企画手法	1	防災訓練・研修の体系	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練・研修の体系 ・体系上の防災訓練・研修の主な内容
		2	各種防災訓練・研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の種類と特徴 ・防災研修の種類と特徴
		3	防災訓練・研修の企画と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の企画と留意点、企画事例 ・防災研修を企画と留意点、企画事例 ・防災訓練/演習を企画運営するために必要な環境(案)(状況認識、ねらいの設定、制約条件の抽出、技法の設定、カリキュラムの設計、開発・実施、評価/検証、フィードバック)
4・5	訓練企画運営実践Ⅰ 状況付与型図上訓練	1	状況付与型図上訓練の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・状況付与型図上訓練の目的 ・状況付与型図上訓練の内容とポイント
		2	状況付与型図上訓練の企画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の企画の流れとポイント
		3	状況付与型図上訓練の評価の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練評価の方法 ・訓練成果の反映方法
6・7	訓練企画運営実践Ⅱ 討議型図上演習	1	討議型図上演習(エスノグラフィー演習)の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・討議型演習の目的、エスノグラフィー演習の位置づけ ・演習の企画の流れとポイント
		2	様々な素材を用いた討議型図上演習の内容や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・討議型図上演習で用いられる各種素材(各種データ、経験談)とその活用 ・素材作成の方法と留意点 ・様々な素材を用いた演習の内容と方法、事例
		3	討議型図上演習を実施する上での留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・演習実施と実施上の留意点
8・9・10	人材育成プログラム作成演習	1	人材育成プログラムの作成方法や留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムの具体例 ・人材育成プログラム作成上の留意点
		9	様々な訓練・研修を組み合わせた人材	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な訓練・研修を組み合わせた年間スケジュール

No	第4階層（単元）	No	第5階層（単元の「章」のまとめ）	第6階層（学習内容）
		4	育成プログラム	・様々な訓練・研修を組み合わせた中長期計画

(3) 標準テキスト(第4階層)

⑨ 人材育成

- 災害対応の経験機会が少なく、かつ人事異動で任期に限りがある国、地方公共団体職員の災害対応力の向上には、訓練や研修を通じた人材育成が必要。
- 災害対策基本法には防災訓練義務が、また、防災基本計画には訓練や研修の位置づけが規定されている。
- 効果的な人材育成のために、各種防災訓練・研修を適切に組み合わせ、団体ごとに人材育成プログラムを作成し、計画的に人材育成を図っていくことが重要である。

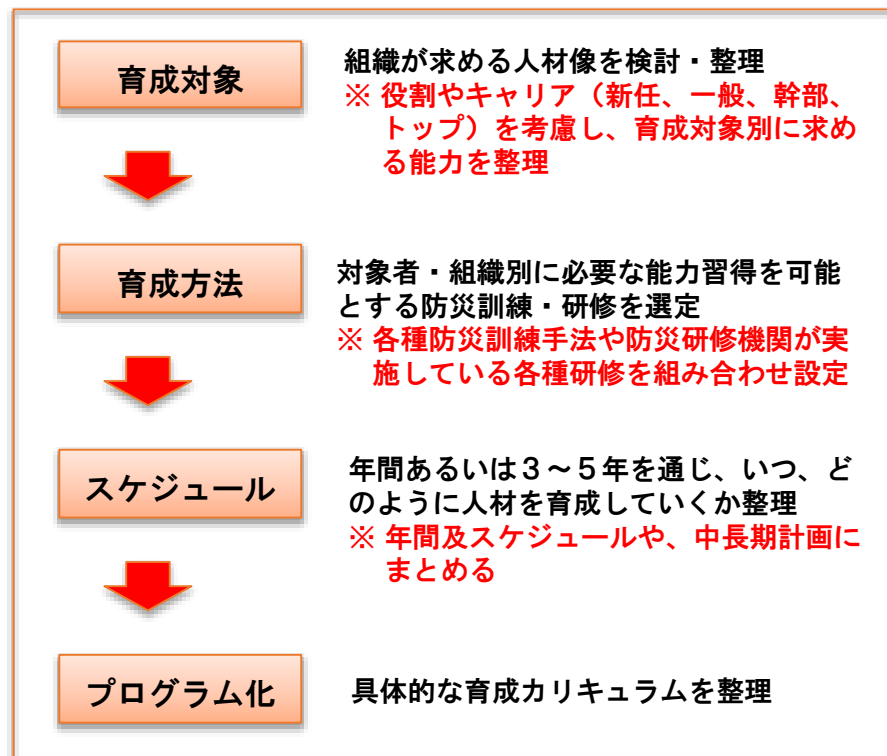
○災害対策基本法における規定「防災訓練義務」

- ・ 第四十八条 災害予防責任者は、法令又は防災計画の定めるところにより、それぞれ又は他の災害予防責任者と共同して、**防災訓練を行わなければならない。**

○防災基本計画(平成28年5月)における防災訓練の位置づけ

- ・ (周到かつ十分な予防) 発災時の災害応急対策、その後の災害復旧・復興を迅速かつ円滑に行うため・・・、**関係機関が連携した実践的な訓練や研修を実施する。**(第1編 第2章 (1))
- ・ (防災計画の効果的推進) 防災計画を効果的に推進するため、必要に応じた計画に基づくマニュアルの作成と、**訓練等を通じた職員への周知徹底及び検証を実行するものとする。**(第1編 第4章 第1節)
- ・ 計画、マニュアルの定期的な点検、点検や訓練から得られた機関間の調整に必要な事項や教訓等の反映(第1編 第4章 第1節)

人材育成プログラム作成の基本的な流れ



- 国や地方自治体が実施している防災訓練・研修には、防災体制の検証をはじめ、防災知識や技術の習得、防災意識の普及など、訓練の目的に応じて様々な形式がある。
- 防災訓練は、実行動をもって疑似体験する実働型と災害状況をイメージしながら対応を思考する図上型に大別できる。

国による実働・図上訓練例



モノレールからの救出・救助訓練
（「防災の日」総合防災訓練）



緊急災害対策本部事務局
（政府緊急災害対策本部図上訓練）

地方公共団体における実働訓練例



宮城県多賀城市



東京都江東区

地方自治体による図上訓練の一例



和歌山県海南市



神奈川県大和市

各種研修機関における防災研修の様子

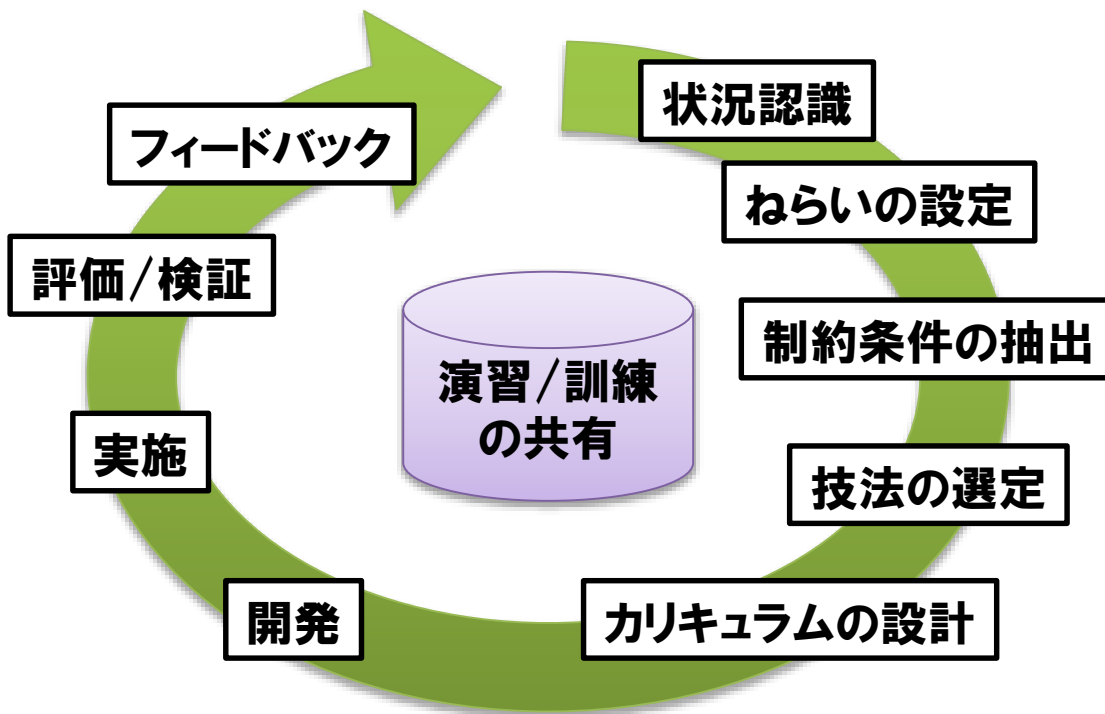


人と防災未来センター



消防防災科学センター

- 防災訓練・研修の企画は、「状況認識」、「ねらいの設定」、「制約条件の抽出」、「手法の設定」、「カリキュラムの設計」、「開発」といった一連の流れにそって組み立てる。
- 防災訓練・研修の企画にあたっては、訓練対象者と、その対象者が身につけるべき知識や技能といった能力を明確化し「ねらいを定める」こと、その能力習得に適した内容や方法を検討し、「手法を設定する」ことが特に重要。



防災訓練の企画の流れ(基本例)

防災訓練・研修の企画における留意点

○ねらいの設定

- ・「誰が」×「何をできる」ようになるのか

【誰が】 防災担当部局 本部員 課長級以上 ……	×	【何を】 知識 技能 態度
---	---	-------------------------------



○手法の設定

- ・「どのように」やればできるようになるか ※ねらいに即した手法選定

【どのように】 ○実働型訓練 ○図上型訓練 座学・ゲーム、イメトレ、 ワークショップ 他
